

次の課題文を読んで、設問A、Bに答えなさい。解答は解答用紙の所定の欄に横書きで記入なさい。

〔課題文〕

自由主義的態度が保守主義的態度と鋭く対立する主要な点を考察するに先立ち、自由主義者が一部の保守主義思想家の業績から教えられることが多かったと思われることを強調しなければならない。成長してきた制度の価値に関する保守主義者の情愛のこもった尊敬すべき研究のおかげで、われわれは（少なくとも経済学の分野以外で）高い見識を与えられ、自由社会を理解するうえで実際の貢献を受けているのである。（中略）政治においていかに反動的であったとしても、かれらは近代の科学研究に先鞭をつけた言語、法律、道徳、慣習等の自生的に成長した制度の意味に理解を示したのであって、自由主義者はそこから利益を得たといつてよい。しかし自由な成長にたいする保守主義者の讚美は一般に過去についてのみである。かれらに典型的に欠けているのは、人間の努力による新しい手段を生み出すのと同じ、設計されざる変化を歓迎する勇氣である。

このことから保守主義的性質と自由主義的性質の根本的に異なる第一の点が引きだされる。保守主義的な著述家がしばしば認識していたように、保守主義的態度の基本的特性の一つは変化を恐れること、新しいものそれ自体にたいする臆病なほどの不信である。一方、自由主義の立場は勇氣と確信にもとづき、どのような結果が生じるかを予想できなくても、変化の方向をその進むにまかせる態度に基礎をおいている。もし保守主義者が単に制度および公共政策における過度に急速な変化を好まないだけならば、反対することは多くない。その場合には慎重かつゆっくりとした処置に賛成する議論が事実強いのである。しかし (A) 保守主義者は変化を妨げ、自分たちのやや臆病な心に訴えるものにたいしては、その速度を限定するために政府の権力を使用する傾向がある。将来を見るにあたって、保守主義者には自生的な調整力にたいする信頼が欠けている。自由主義者にはこの信頼があつて、適応がどのように成し遂げられるのかを知らなくとも、不安なしに変化を受け入れるのである。とくに経済の分野において市場の自己調整力が特定の事例において、どのように働くかを誰も予言できないとしても、それが新しい状態にたいして必要な調節をどうにかしてもたらすであろう、と想定するのは自由主義的態度の一面をなすものである。人びとがしばしば市場を機能させることを好まない要因としては、需要と供給、輸出と輸入などのあいだに意図的な統制なしに、ある必要な均衡がどのようにもたらされているのだろうかを考えることができないということが、おそらくもっとも強いものであろう。保守主義者が安心して満足を感じるのは、ある高い英知が見張りをして変化を監督するという保証がある場合のみであり、またある権威機関が変化を「秩序正しく」維持する責任を負うことを知っている場合のみである。

統制されない社会の力を信頼することにたいするこの恐れは、保守主義の他の二つの性格に密接に結びついている。すなわち、保守主義の権威にたいする愛着および経済的な力にたいする理解の

欠如である。保守主義は抽象的理論も一般的原則もともに信用しないため、自由の政策の根拠となる自生的な力を理解しないし、政策の原則を定式化する基盤をもっていない。命令は保守主義者にとって権威の絶えざる配慮の結果と受けとられ、権威はこの目的のために特定の事情から必要とされるどんなことでもなしうることを認められねばならず、厳格な規則にしばられてはならない。規則に従うということは一般的な力が社会のいろいろな努力を調整するということを理解してはじめて成り立つものであるが、保守主義者にはっきり欠けているのが、このような社会理論、とくに経済機構の理論である。保守主義は社会秩序がいかに維持されるかに関する一般的概念をつくりだすことについて非常に無能であったため、つねに近代の保守主義の支持者たちは理論的基礎をつくりあげようとして、自ら自由主義者をもって任じた著述家にほとんど例外なく援助を求めていることに気づく。(中略)

それはともかくとして、主要な点にもどろう。それは既成権威の行為にたいする保守主義者特有の自己満足と、この権威の力のある限度内に押えることよりもむしろ権威を弱められないようにしておくことに保守主義者のおもな関心があることである。これは自由の保持とは相容れがたい。一般に保守主義者は自分たちが正しい目的とみなすもののためにもちいられるのなら、強制または恣意的権力におそらく反対をしないといってよいであろう。もし政府が立派な人間の手にゆだねられるならば、厳格な規則によって抑制しすぎてはいけなやかかれらは信じている。本質的に日和見主義者であり、原則を欠いているため、かれらの第一の望みは賢人と善人が支配することである。それもわれわれとして望まなければならないのは模範を示してくれることであるが、そればかりでなく、これらの人びとに権威を与え、実施されることをも望む。社会主義者と同じように、保守主義者は誰が政府の権力を握るかという問題により多くの関心を持ち、政府の権力がどのように制限されるべきかという問題にはあまり関心をもっていない。そして社会主義者と同じように、保守主義者は自分の抱く価値を他の人びとに強いる資格があるとみなしている。

保守主義者は原則を欠く、とわたくしがいうとき、かれらに道德上の信念が欠けていると暗にいおうとしているのではない。事実、典型的な保守主義者はたいてい非常に強い道德的信念をもつ人物である。わたくしのいわんとするところは、政治的信念を共にする者も異にする者も、等しく自分の信念にもとづいて行動できる政治秩序のために、一緒に働くことのできる政治的原則が承認されていてこそ、異なる価値の党派の共存を許しながら最小の強制で平和な社会を築くことを可能とするのである。このような原則を受け入れることによって、好まない者の多くを許すことに同意するのである。わたくしに訴える価値は、社会主義者の価値よりも保守主義者の価値のほうに多い。しかし自由主義者にとっては、ある個人的な目的を重要と思っても、他の人びとにそれに従うよう強いることを十分に正当化することにはならない。(中略)他の人間とともにうまく生活し、働くためには、自分の具体的目的にたいする誠実さ以上のものが必要である。そのためには、ある人にとって根本的なことがらについてさえ、ほかの人は異なる目的を追求することが許される、と

いうある種の秩序にたいして知性をもって参画することが必要である。

この理由から、道徳的理念にしても宗教的理念にしても、自由主義者にとっては強制の適切な対象とはならない。しかるに保守主義者と社会主義者はともにそのような限度を認めない。ときどき感じることであるが、社会主義とも保守主義とも違う自由主義のもっとも顕著な特質は、他人の保護領域を直接侵害しない行為の問題にかかわる道徳的信念は強制を正当化するものではないという見解である。このことはまた、^(B) 悔い改めた社会主義者が新しい精神的な棲家を自由主義の囲いよりも保守主義の囲いのなかに求めやすいように見える理由を説明するものかもしれない。

結局のところ、保守主義的立場の拠り所は、いかなる社会でも明らかに優秀な人物がおり、その人が受けついできた基準と価値と地位とは保護されるべきであり、そしてその人たちは公共の問題についてほかの人よりも大きな影響力をもつべきであるという信念にある。自由主義者はすぐれた人びとが何人かいることをもちろん否定しないが——自由主義者は平等主義者ではないから——そういうすぐれた人が誰であるかを決定する権威を誰かがもっていることを否定する。しかるに、保守主義者はある特定の確立した階層秩序を擁護する傾向があり、かれらが尊重する人びとの地位を当局に守らせようと望む。これにたいして、自由主義者はどんな確立された価値にたいする尊敬といえども、経済的な変化の力に対抗してそのような人物を守るために、特権、独占あるいは国家のいかなる強制力にも訴えることを是認しないと信じている。自由主義者は文化的・知的エリートが文明の発展において演じた重要な役割を十分に知っているが、エリートといえども他のすべての人と同様の規則のもとで、自らの能力によってその地位を維持することを証明しなければならないと信じている。

(F. A. ハイエク著、気賀健三・古賀勝次郎訳『自由の条件 [Ⅲ] 福祉国家における自由』春秋社、2007年より抜粋、注は省略した。常用漢字表にない漢字については、一部ふりがなをつけた。)

[設 問]

- A. 下線部Aの要因となりうる保守主義者の特徴を，自由主義者との違いに着目し，本文の趣旨に沿って網羅的に説明しなさい。200字以内で記述しなさい。
- B. 下線部Bについて，なぜそうなるのか，本文の趣旨に沿って説明しなさい。そのうえで，「自由主義の囲い」と「保守主義の囲い」が下線部Bで書かれた意味で対立する具体的な問題の例を日常生活や社会問題などから自由に設定し，自由主義者であればその問題についてどうするかを，理由を示して論じなさい。400字以内で記述しなさい。